

【様式】

令和元年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立津東高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>○元気で明るく大きな声で挨拶ができる学校。</p> <p>○地域における進学校としての教育・進学ニーズに真正面から応える学校。</p> <p>○自立・進取の気概を持ち切磋琢磨に努め、不断の進化を続ける学校。</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>○「向学立志」の校是を理解し、自らを磨くため、高い目標を持って学習や部活動に取り組み、真摯に自分自身の人生の進路を切り拓こうと励んでいる。</p> <p>○一人ひとりが適切に自己目標を設定・達成することで、自尊感情・自己肯定感・自己有用感を獲得している。</p>
	ありたい 教職員像	<p>○前例主義を打破し、失敗を恐れず積極的に新しいことにチャレンジできる教職員。</p> <p>○「無理、無駄、できない」でなく「どうしたらできるか」を考え行動できる教職員。</p> <p>○基本的な生活習慣、確固とした基礎学力を土台に、生徒一人ひとりの価値観の確立・自己実現や、心豊かな人間性の創造を支援する教職員。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> できれば国公立大学に進学したいと希望しており、それを実現できるよう、学力を付けられるわかりやすい授業を望んでいる。</p> <p><保護者> 子どもをできれば国公立大学に進学させたいと希望しており、それを実現するための授業力・進路指導力を期待している。</p> <p><地域・県民> 地域に貢献でき、学力に見合う豊かな人格と心を持つ生徒の育成、地域社会を担い、社会貢献する生徒の育成を期待している。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><保護者・PTA> 確かな学力と進路保障、豊かな情緒や人格形成をして欲しい。</p> <p><地域> 地域の活性化に協力し、信頼できる学校となって欲しい。</p> <p><進学先(大学等)> 基礎学力と明確な目的意識、課題解決のための「思考力・判断力・表現力」を育て欲しい。</p> <p><学習塾等学習産業> (中学生対象の学習塾) 高校卒業後の進路状況などの情報提供をして欲しい。(高校生対象の学習塾) 大学入試に向けた連携をして欲しい。</p>	<p><保護者・PTA> 家庭での学習環境整備と学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p><地域> 学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p><進学先(大学等)> 生徒の進路希望実現のための情報提供をして欲しい。</p> <p><学習塾等学習産業> (中学生対象の学習塾) 中学生保護者へ本校教育活動の情報提供をして欲しい。(高校生対象の学習塾) 大学入試関連の情報提供をして欲しい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>特にキャリア教育については、生徒との面談をはじめ、さまざまな仕掛けに基づいたきめ細かい指導をしてもらっている。日常の授業を充実するとともにあらゆる機会を通して生徒に刺激を与えてもらいたい。一方、ワークライフバランスの視点から教職員が満足感を持って楽しそうに仕事をしていれば、自ずと生徒達にもよい影響が与えられると考える。多忙化への工夫として、地域課題に係る学習については、外部イベントをもっと活用するといった方策も検討されたい。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	生徒の学校生活は落ち着いており、学習や部活動に熱心に取り組んでいる。ただ、大人しい生徒が多く、自主性や積極性にやや欠け、高い目標設定をせず諦めてしまう場合がある。きめ細かな指導により自尊心や学習に対する意欲が高まり、国公立大学への進学者も増えている。引き続き課題の量や質を教科横断的に調整し、個々の学力に応じて必要な負荷を掛ける一方で、学習内容や量を自ら選択できるように習熟度別課題を用意するなど、生徒が主体的・自立的に学習に取り組める仕組みを工夫する必要がある。
	学校運営等	平成30年度の過重労働時間は平成29年度に比べやや少なくなはなつたが、まだまだ多い。生徒の進路希望実現のため、教科指導や進路指導等の時間は削減できない。その他の業務で時間短縮できるよう、学校運営のさらなる効率化を図る必要がある。「入ってきた生徒の力を引き出し伸ばす」という目指す姿の具現化のため、校内の縦横の連携を強化し、職員の意思統一を図る必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○生徒の進路希望実現と「生涯学び続け得る学力」をつけるために、生徒の学習実態を定期的に調査するとともに教員の授業力向上に学校全体で取り組み、生徒への「しかけ」や校内の「しくみ」について検討する。また、学習指導要領改訂や入試制度改革などの変化を本校の教育活動に取り入れるため、情報収集や研修会を進めていく。</p> <p>○部活動と学習の両立のための時間の使い方など、基本的な生活習慣を確立させる。一人ひとりの自尊心を育成し、命の大切さや主体性につなげる一方で、人の気持ちを理解し他者と支え合いながら社会を創っていく社会人基礎力を育む。</p>
学校運営等	<p>○学年や分掌間で連携し、明るく相互に認め合い協力し合える組織文化を培うとともに、情報共有のしくみを作るなど、職員相互の対話と情報共有を促進し、学校全体の組織力を向上させる。</p> <p>○業務の効率化を図り、総勤務時間の削減に取り組むことで、教職員が元気にいきいきと職務を遂行できる環境づくりに努める。また部活動については「学校部活動運営方針」に基づき、その周知徹底と運用に取り組むとともに、働き方改革をさらに推進する。</p> <p>○学校運営への保護者・地域住民の参画を呼びかける。またホームページによる学校教育活動の情報提供を充実させるなど、開かれた学校づくりに取り組む。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。
 (例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
 また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路希望の実現	<p>○生徒の進路実現に向け、進路ガイダンスや講演会の実施および「進路だより」の活用を通して生徒の進路意識を高めるとともに、進路について主体的に調べたり考える機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター試験の出願が90%以上 ・国公立大への出願者160名 ・小論文や各専門分野、職業案内等キャリア関係図書の充実 <p>○総合的な学習の時間等の各種取組を通して、世の中に対して探究心や広い視野を持たせるため、体系的なキャリア教育を実施する。</p> <p>○奨学金制度の紹介や手続きを行い、経済的な面から生徒の進路希望実現の支援を行う。</p> <p>○自己肯定感を育み高めるために生徒の心に寄り添い、進路実現に向けての支援を行う。</p>	(年度末および適宜記載)	◎

	<p>【1、2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談は年間3回以上実施 ・大学調べや講演等、進路について考える機会年間 10～15 回以上 ・模試への計画的な準備と振り返りを毎回実施 <p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談は年間5回以上実施し、進路実現の支援に努める 		
<p>学習環境の整備</p>	<p>○教育課程の問題点を検討し、改善を図るとともにSクラスのあるべき体制を見据え、講座編成や習熟度別授業のあり方について検討し、見直しを図る。</p> <p>○コース別に単位制に関わる授業のあり方について再考し、講座の見直しを図る。</p> <p>○授業時間の確保に努めるとともに、生徒のニーズに対応するよう、放課後・土曜・夏期に補講を開催する。</p> <p>○快適な学習環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇期間には自習室を設置し学習場所を提供する。 ・机・椅子・教室のカーテンは、適宜交換し環境整備に努める。 ・より良い学習環境を提供するために、掃除を徹底する。 ＊美化委員による清掃確認:年 16 回 ＊大掃除(中掃除含む):年 8 回 ＊ゴミゼロ運動・夏期除草作業・クラブ一斉清掃:年各1回 <p>【1、2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確保 ・学習記録ノートの活用 ・平日2時間、休日3時間の学習時間確保 <p>【3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動引退後は平日4時間、休日 10 時間の学習時間確保 	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>◎</p> <p>※</p>
<p>自主性・主体性の育成</p>	<p>○LHRや総合的な学習の時間を通して、自ら課題を見つけ自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉読書等の活動を含め、図書館年間貸出目標 5, 521 冊 <p>○挨拶励行、時間厳守、スマートフォン等の使用マナー遵守など基本的な生活習慣を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員による毎日の登校指導の実施 <p>○学校行事を通して、クラブ・委員会の生徒、教員や地域の人々との出会いを作り出すとともに、仲間と切磋琢磨することでお互いが成長する機会を創出するという観点で、学校行事のあり方を考え、行事を充実させる。</p> <p>○LHR、教科、分掌の教育活動において、差別を許さない態度と差別を見抜き、差別解消に向けて主体的に行動する力を育てる。</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>※</p> <p>◎</p>

<p>安全・安心 な学校づくり</p>	<p>○実効性のある防災、危機管理教育や訓練を目指して、教育訓練を行う。</p> <p>○他者を思いやり、自律した行動が取れる力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート、個人面談等を活用して「いじめ」の未然防止及び早期発見・早期対応を目指す ・他者を思いやる心の涵養を HR や講話、通信等を通じて啓発する <p>○自らの健康に関心を持ち、主体的に健康な生活を送ることの出来る生徒を育てる。</p> <p>個別の保健指導(視力/口腔の健康など):年 2 回以上</p> <p>○生徒へのメンタル面での支援のため、スクールカウンセラーをはじめ様々な機関と連携し適切なケアを行う。</p> <p>保健室利用状況の報告と学年との情報交換:年 10 回</p> <p>教育相談係との連携:年 20 回以上</p> <p>○いじめや差別を許さず、一人ひとりの個性の違いを認め、互いに尊重することができる仲間づくりをする。</p> <p>○施設の老朽化に留意しながら適切な維持管理を行う。</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>◎</p> <p>※</p>
<p>自尊感情と 社会人基礎 力の育成</p>	<p>○今後一層求められる思考力・判断力・表現力、およびコミュニケーション能力の育成と伸長を、授業をはじめ LHR・総合・課外活動等、あらゆる教育活動を通して図る。</p> <p>○どんな場面でも元気で挨拶ができる態度や状況に応じてきちんとした言葉遣いで話すことができる力を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生指講話、生指通信等で挨拶の励行を啓発していく ・常に職員からの声掛けを心がける ・登・下校時、職員室への入室時、クラブ活動等あらゆる場面を通じて、全職員による指導を心がける <p>○自己肯定感を高め、健全・健康な心身を育むよう、心のケアを中心に生徒と対話を丁寧に行う。</p> <p>○「新聞を読もう」の企画を通して、生徒の背景知識を豊かにし、望ましい社会の実現に向けて活動しようとする意欲を喚起させる。</p> <p>○LHRにおける人権学習や学校行事に向かう HR 活動を通して、人間の関係の在り方や社会問題に関心を持ち、望ましい集団や社会の実現に向けて活動しようとする意欲や態度を身に付ける。</p> <p>○社会人基礎力向上のために書籍充実に取り組むとともに、新聞や関連図書を広く収集し、情報提供を行う。</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>※</p> <p>◎</p>
<p>改善課題</p>			
<p>(年度末に記載)</p>			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学校全体の組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○学年との進路懇談会を通して進路指導部と学年団の意思疎通を図り、お互いに協力して生徒への円滑な進路指導を行う。 ○授業アンケートを活用し、指導力向上および授業改善に向け、各種研究会や教科研修会へ積極的に参加し指導技術等の向上を目指す。 ○生徒一人ひとりを尊重し、個に応じた指導に心がけるとともに、日頃から生徒に関する情報共有を行い、個々の事例について連携を図り教員一人が抱え込むことのないようチームとして臨めるよう努める。 	(年度末および適宜記載)	
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○学年だよりの配布および学年別保護者進路説明会の実施を通して、保護者との情報共有を目指す。 ○PTA活動や学校関係者評価委員会を通して、保護者や地域住民の学校運営への参画を進める。 ○ホームページなどを通じて学校の取組や部活動を含む生徒の様々な活動情報を発信することにより、積極的な情報提供に取り組むと同時に、多様な意見を聞くように努める。 ・新聞等の掲載回数5回以上 ○授業公開の取組を進める。 ○新着図書案内を家庭にも配布することで保護者にも図書館を開放していく。 ・第10号まで発行予定 ○不安を抱える保護者のためにも教育相談室の活用及びカウンセラーの紹介など、広報活動に努める。 	(年度末および適宜記載)	
目指す姿の具現化	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す学校像の具現化に向けて、本校のあるべき姿や目指すべき方向性等について様々な場で対話を行う。 ・学校ビジョン委員会の開催:年6回以上 ・学力向上推進委員会の開催:年6回以上 ・校長と教職員との面談:一人平均年3回以上 	(年度末および適宜記載)	
働きやすい職場づくり	<p>【総勤務時間縮減について】()はH30年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○成果指標 <ul style="list-style-type: none"> ・月80時間を超える時間外労働者の年間の延べ人数を50%削減(73人/年) ・時間外労働を一人あたり月1.5時間削減(28.9時間/月) ・休暇取得を年0.5日増加(9.6日/年) ○活動指標 <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日を月1日実施し、設定した日の定時に退校できる職員の割合80%を目指す。(63%) ・部活動休養日を週1日設定し、予定通り休養日を設定した部 	(年度末および適宜記載)	

	<p>活動の割合 100%を目指す。(92%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合 85%を目指す。(77%) 		
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	(年度末に記載)
----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	(年度末に記載)
<p>学校運営についての改善策</p>	(年度末に記載)